

# 課題を解決する 介護ICT機器 導入術

## 事業所の課題を解決すればケアの質もアップ

介護業界のICT化が叫ばれて久しいが、2021年の統計によると、介護ロボット導入・活用の国家戦略特区の福岡県北九州市でも、介護ロボット普及率は33.7%\*。数年前に比べると導入自体はかなり進んだが、まだまだ途上と言える。また、記録や請求業務など簡単な機器を入れているけれども、使いこなせているかは正直微妙なところで、本格的なICT導入はまだという事業所も多いのではないだろうか。そこで今回は、介護事業所として成功するICT化に向けた機器導入のポイントと機器の選択術をお伝えする。

訪室が多い

記録に手間がかかり  
残業が多い

職員同士の伝達ミスが多い

利用者の状態のデータが  
分析できていない

転倒の原因がわからず  
再発防止が難しい

**ICT化で解決できる!**

夜間の人出が足りない

ケアマネに必要な情報や  
知識が膨大すぎる



腰痛の職員が多い

\*北九州市「介護ロボットの導入状況などに関するアンケート調査(令和3年度)」